

# 観光農園における新たな加工体験の導入支援

東近江農業普及指導センター

## 【普及活動のねらい・対象】

近年、新規就農者を中心にイチゴ栽培が増加しており、中でも観光農園に取り組む農業者が急増しています。県内最大級のK農園は、さらなる魅力向上にむけて体験施設を建設されましたが、具体的な活用方法が明確になっていませんでした。

そこで、集客力を高め売り上げ向上を図るため、本施設を有効に活用できる新たな加工体験メニューの導入と計画作成の支援を行いました。

## 【普及活動の内容】

加工体験という新たな取組については、農園の関係者全員が目的や目標、それにむけた行動計画を共有化し事業展開することが重要であるとならえ、話し合う機会や6次産業化プランナー等の専門家からの助言の場を多く設定し、文書化＝計画作成への意欲を喚起し、活動を行いました。

具体的には「実施可能期間」「所要時間」「対象」「必要用具」「受け入れ難易度」に加えて、「消費者からの目線（体験難易度、話題性、驚き度）」について取りまとめた体験メニュー案を作成し、それをもとに検討を重ねました。その中でも看板となるピッツァ体験については、新たに施設整備や技術習得に投資が必要であったため、補助事業の導入を働きかけ、効果的な機器の選定を助言しました。また、消費者の意向をとらえた加工体験を実施するために、消費者評価会の開催を提案し、消費者の意見や要望を踏まえた事業計画が作成できるよう助言を行いました。



写真 導入されたピッツァ窯

## 【普及活動の成果】

支援の結果、K農園が提供する加工体験メニューとして7メニュー（ピッツァ、石窯焼野菜、ジャム、スムージー、ジュース、パエリア、パフェ）が選定され、消費者評価会の結果を参考に事業計画が作成できました。事業計画には加工体験開始年度、ターゲット、売上げ目標と目標達成に向けた行動計画を記載し、明文化されたことで関係者の共有化が図れ、取組への意欲が高まりました。

### ◎対象者の意見

補助事業でピッツァ窯が導入でき、取り組む意欲喚起につながった。来年度から本格的に実施するため、更なる支援をお願いしたい（K農園）。